

心に残る文化財子ども塾 学習指導案

日時 令和元年6月6日(木)

9時30分～12時30分

対象 飯南町立赤名小学校6年生14名

指導 赤名小学校6年担任1名

島根県文化財課世界遺産室職員1名

島根県埋蔵文化財調査センター職員1名

1. 主題名

- 昔の人が使っていた鏡を作って、古代の人々の文化や技術を知ろう。

2. ねらい

- 身近な地元の遺跡や歴史について学習することを通して、ふるさとの歴史に対する興味や関心を高める。
- 金属鏡作りを体験することで、古代の人々の生活の様子や技術などについて考えることができるようにする。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援	担当
9:30 (5分)	1, オリエンテーションおよび講師紹介。	・見通しを持って学習できるように、学習の流れと講師の紹介をする。	担任
9:35 (35分)	2, 地元の歴史はどういうものかを知る。	・身近なところにも遺跡があることを学び、歴史学習への意欲を持たせる。 ・身近な地元の歴史と関係の深い遺物に触れることで、歴史への関心を深める。	埋文C職員 世界遺産室職員
10:10 (10分)	3, 古代の鏡について知る。	・古墳の基礎知識や古代の鏡について知ることによって、鑄造体験への意欲を持たせる。	世界遺産室職員
10:20 (10分)	【休憩】		

10:30 (80分)	4, 金属鏡を作ろう。 ・作り方の説明を聞く。 ・鏡を作る(体験)。	・作り方の流れを資料で説明する。 ・作業の際には安全面に十分に注意する(特に湯を鋳型に入れる時と鋳型から切り離す時)。 ・作業は2人1組で行う。 ※3人1組のグループも	世界遺産室職員 埋文C職員
11:50 (10分)	【休憩】		
12:00 (15分)	5, 学習のまとめ ・感想発表。 ・アンケートに答える。 ・記念撮影		担任

4. 準備物

(1) 学校・児童

パソコン、大型テレビ(いずれもパワーポイント用資材)、雑巾、筆記用具、軍手、水、バケツ、新聞紙

(2) 世界遺産室・埋蔵文化財調査センター

学習資料、アンケート用紙、鏡の鋳型(6セット)、鍋、低融点金属、布、研磨剤、粘土板、サンドペーパー、金やすり、ニッパー、カメラ